



6 保守

Express5800/ftサーバの保守について説明します。また保守にあたって装置を移動させる必要がある場合は、本章の最後に記載している手順に従って移動させてください。

日常の保守

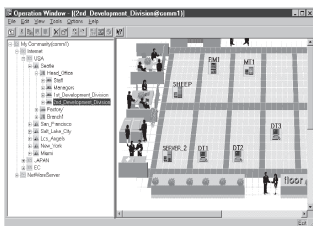
Express5800/ftサーバを常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

アラートの確認

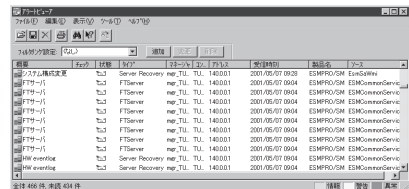
システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。

管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意するよう心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「統合ビューア」、「データビューア」、「アラートビューア」でアラートが通報されていないかチェックしてください。

ESMPROでチェックする画面



統合ビューア



アラートビューア



データビューア

ステータスランプの確認








Express5800/ftサーバの電源をONにした後、およびシャットダウンをしてExpress5800/ftサーバの電源をOFFにする前に、Express5800/ftサーバ前面にあるランプや、3.5インチハードディスクドライブベイに搭載しているハードディスクドライブのランプの表示を確認してください。ランプの機能と表示の内容については2-23ページの「ランプ」をご覧ください。万一、Express5800/ftサーバの異常を示す表示が確認された場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。

バックアップ

定期的にExpress5800/ftサーバのハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップすることをお勧めします。Express5800/ftサーバに最適なバックアップ装置やバックアップツールについてはお問い合わせの販売店にお問い合わせください。

クリーニング

Express5800/ftサーバを良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。

 警告	
     	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、1-9ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分で分解・修理・改造はしない ● CD-ROMドライブの内部をのぞかない ● プラグを差し込んだまま取り扱わない

本装置のクリーニング

Express5800/ftサーバの外観の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。



- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、ケーブル、Express5800/ftサーバ背面のコネクタ、Express5800/ftサーバ内部は絶対に水などでぬらさないでください。

1. Express5800/ftサーバの電源がOFFになっていることを確認する。
2. Express5800/ftサーバの電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. Express5800/ftサーバの汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。
8. 乾いた布で装置背面にあるファンの排気口に付着しているほこりをふき取る。

キーボード/マウスのクリーニング



キーボード/マウスはUSBインターフェースであるため、本装置への取り付け・取り外しは本装置の電源をOFFする必要はありません。

キーボードはExpress5800/ftサーバおよび周辺機器を含むシステム全体の電源がONのまま取り外し、キーボードの表面を乾いた布で拭いてください。

クリーニング完了後は、システム全体の電源がONのままコネクタに接続してください。マウスが正常に機能するためには、内部のマウスボールがスムーズに回転できる状態であればなりません。マウスボールの汚れを防ぐためにほこりの少ない場所で使用して、定期的に次の手順でクリーニングしてください。

1. Express5800/ftサーバの電源がONのままキーボードのUSBハブからマウスを取り外す。

2. マウスを裏返してマウスボールカバーを反時計回りに回して中からマウスボールを取り出す。

3. マウスボールを乾いた柔らかい布などでふいて、汚れを取り除く。

汚れがひどいときはぬるま湯、または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてふいてください。

4. マウス内部にある3つの小さなローラを綿棒などでふく。

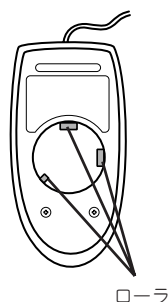
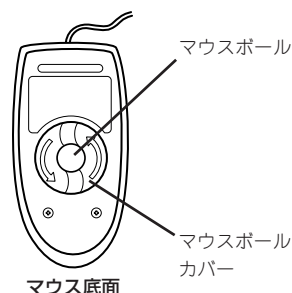
汚れがひどいときはアルコールなどを少量含ませてふいてください。

5. マウスボールをマウスの中に戻す。

手順3、4でマウスボールやローラをぬらした場合は、十分に乾燥させてからボールを入れてください。

6. マウスボールカバーを元に戻して、時計回りに回してロックする。

7. Express5800/ftサーバ(キーボードのUSBハブ)に接続する。



フロッピーディスクドライブのクリーニング

フロッピーディスクドライブでフロッピーディスクを使用していると、ヘッドの汚れによるリード/ライトエラーが起きることがあります。

リード/ライトエラーが起きたときは、フロッピーディスクドライブ専用のクリーニングキットを使用してリード/ライトヘッドのクリーニングをしてください。クリーニングは、エラーが起きたときだけでなく、定期的に行うことをお勧めします。

クリーニングキットの購入については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社までお問い合わせください。

CD-ROMのクリーニング

CD-ROMにほこりがついていたり、トレイにほこりがたまっていたりするとデータを正しく読み取れません。次の手順に従って定期的にトレイ、CD-ROMのクリーニングを行います。

1. Express5800/ftサーバの電源がONになっていることを確認する。
2. CD-ROMドライブ前面のCDトレイエジェクトボタンを押す。
トレイがCD-ROMドライブから出てきます。
3. CD-ROMを軽く持ちながらトレイから取り出す。

重要

CD-ROMの信号面に手が触れないよう注意してください。

4. トレイ上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。

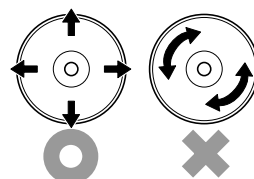
重要

CD-ROMドライブのレンズをクリーニングしないでください。レンズが傷ついて誤動作の原因となります。

5. トレイをCD-ROMドライブに戻す。
6. CD-ROMの信号面を乾いた柔らかい布でふく。

重要

CD-ROMは、中心から外側に向けてふいてください。クリーナをお使いになるときは、CD-ROM専用のクリーナであることを確かめください。レコード用のスプレー、クリーナ、ベンジン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなったり、Express5800/ftサーバにそのディスクをセットした結果、故障したりするおそれがあります。



テープドライブのクリーニング

テープドライブのヘッドの汚れはファイルのバックアップの失敗やテープカートリッジの損傷の原因となります。定期的に専用のクリーニングテープを使ってクリーニングしてください。クリーニングの時期やクリーニングの方法、および使用するテープカートリッジの使用期間や寿命についてはテープドライブに添付の説明書を参照してください。

システム診断(お客様用)

システム診断(お客様用)はExpress5800/ftサーバに対して各種テストを行います。
「EXPRESSBUILDER」の「ツール」メニューから「システム診断」を実行してExpress5800/ftサーバを診断してください。

システム診断(お客様用)の内容

システム診断(お客様用)には、次の項目があります。

- Express5800/ftサーバに取り付けられているメモリのチェック
- CPUキャッシュメモリのチェック
- システムとして使用されているハードディスクドライブのチェック
- 本装置に標準装備しているネットワーク(LAN)コントローラのチェック



システム診断(お客様用)を行う時は、必ず本装置に接続しているLANケーブルを外してください。接続したままシステム診断を行うと、ネットワークに影響をおよぼすおそれがあります。



ハードディスクドライブのチェックでは、ディスクへの書き込みは行いません。

システム診断(お客様用)の起動と終了

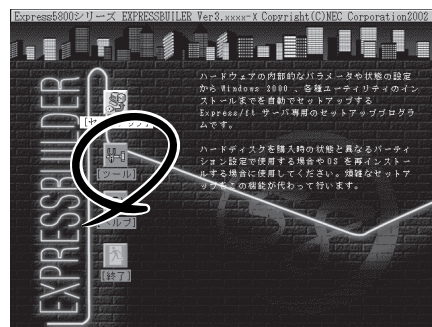
システム診断(お客様用)の起動方法は次のとおりです。

1. シャットダウン処理を行った後、Express5800/ftサーバの電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。
2. 本装置に接続しているLANケーブルをすべて取り外す。
3. 電源コードをコンセントに接続し、Express5800/ftサーバの電源をONにする。
4. 「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをExpress5800/ftサーバのCD-ROMドライブにセットしてExpress5800/ftサーバをCD-ROMから起動する。

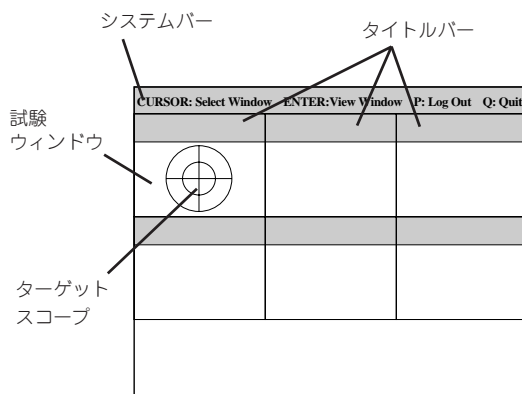
EXPRESSBUILDERから起動すると画面にメニューが表示されます。

5. [ツール]を選択する。
6. 「ツールメニュー」から[システム診断]－[システム診断(お客様用)]の順に選択する。

システム診断(お客様用)を開始します。
約3分で診断は終了します。



診断を終了するとディスプレイの画面の表示が変わります。



- システムバー: 試験中に時間などの情報が表示されます。診断終了後には、ウィンドウを操作するキーの説明が表示されます。
- タイトルバー: 診断の項目が表示されます。エラーを検出したときは、このバーが赤色表示になります。
- 試験ウィンドウ: 診断の経過または結果が表示されます。
- ターゲットスコープ: 試験ウィンドウを選択するためのカーソルです。キーボードのカーソルキーで他の試験ウィンドウに移動します(ここで<Enter>キーを押すと、選択したウィンドウに対する確認ができます。もう一度、<Enter>キーを押すと元の画面に戻ります)。
システムの構成によっては丸い円表示ではなく、試験ウィンドウの枠の色の表示が変わります。

システム診断でエラーがあった場合はタイトルバーが赤色に変化し、エラーに関する情報が赤色で表示され警告を促します。エラーメッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

7. <Q>キーを押して、メニューの中から[Reboot]を選択する。
Express5800/ftサーバが再起動し、システムがEXPRESSBUILDERから起動します。
8. EXPRESSBUILDERを終了し、CD-ROMドライブからCD-ROMを取り出す。
9. Express5800/ftサーバの電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜く。
10. 手順2で取り外したLANケーブルを接続し直す。
11. 電源コードをコンセントに接続する。



以上でシステム診断(お客様用)は終了です。

オフライン保守ユーティリティ

本装置ではオフライン保守ユーティリティをサポートしていません。

移動と保管

Express5800/ftサーバを移動・保管するときは次の手順に従ってください。

 注意	
	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、1-9ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 一人で搬送・設置をしない● 指定以外の場所に設置しない● プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない



- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- ハードディスクドライブに保存されている大切なデータはバックアップをとっておいてください。
- ハードディスクドライブを内蔵している場合はハードディスクドライブに衝撃を与えないように注意してExpress5800/ftサーバを移動させてください。
- 装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-10～55℃、湿度：20～80%、ただし、結露しないこと)を守って保管してください。

1. フロントベゼルを取り外す。
2. フロッピーディスク、CD-ROMをセットしている場合はExpress5800/ftサーバから取り出す。
3. Express5800/ftサーバの電源をOFFにする。
4. Express5800/ftサーバの電源コードをコンセントから抜く。
5. Express5800/ftサーバに接続しているケーブルをすべて取り外す。
6. ラックから各モジュールを取り出す。
7. CPUモジュールは2人以上で、PCIモジュールと拡張PCIモジュールは1人以上で底面を持って運ぶ。
8. Express5800/ftサーバに傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。



輸送後や保管後、装置を再び運用する場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

本装置および内蔵型のオプション機器は、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤動作や故障の原因となります。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、使用環境に十分なじませてからお使いください。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

~Memo~